

令和5年度 市長とちよこっトーク（大沢地区） 会議結果（要旨）

日時	令和5年10月25日(水) 18時～20時
参加者	日光市長 大沢地区まちづくり協議会委員 12名
テーマ	みんなが元気な活力ある町にしたい
意見交換	<p>【課題1】 災害について</p> <p>【参加者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の要支援者名簿があり、市では、自治会長と民生委員に渡し、支援を依頼している。対象者が個人情報提供に同意するか否かによって、事前に確認できる名簿と、災害が発生してからでないと開封できない名簿があるため、迅速で安全な支援が難しい。 ・自治会では、事前に確認できる名簿は、予め状況を確認して、災害時は優先順位を決め救護に行くことになっている。 ・しかし、個人情報の提供に同意していない方の名簿は、事前確認が出来ないため、大規模災害があった時に封を開けても自治会として、対応が難しくどうにもならない。 ・封筒の中にどんな情報が入っているのかもわからないし、事前確認が出来ないため早期援助が不可能になる。個人情報の問題もあるが、支援を必要とするなら、市が予め対象者に説明と説得をして、対象者の方には、対応の差が生じてしまうことをきちんと理解していただきたい。 ・民生委員では、警報が出た時点で名簿を開封と聞いているが、該当地域に土砂災害などが出なければ開ける必要がない。 ・地震災害などで万が一開けてしまったものは、そのまま保管と社会福祉課から聞いている。 <p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・封筒は、同意がないと開けられないものになっているので、行政としても苦しい状況である。 ・事前に開封できない封筒については、どのような情報が入っているか程度は把握されたいということでしたので、どのようなものが入っているのかは伝えられるよう、改善出来るところは改善する。

意見交換	<p>【課題2】 コミュニケーション</p> <p>【参加者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・核家族が多いので、自治会の加入世帯も少なく、おじいちゃん、おばあちゃんとの繋がりが希薄になっている。 ・大沢小学校では悲しい事件があり、子供だけでは下校が出来ていない。現役PTAの中には、事件を知らない人も多くなっている。 ・安心、安全に登下校するには、近所の繋がりが必要ではないかと思う。 ・県の事業で、若者と高齢者を繋ぎますプロジェクトがあったが、顔見知りの環境は必要だと思う。 ・顔見知りの環境がないと、登下校も安心できない。 ・猪倉新町も今年3年振りに盆踊りを実施したが、参加者は少なかった。 ・子ども達が、お囃子の練習をして手作りのお祭りを実施することにより、継承出来るのではないかと感じる。 ・若い力を活かしたまちづくりをして、日光市を盛り上げたい。そのためには、縦の繋がりが重要と思われる。 ・大室小学校では、学校運営協議会を立ち上げ、自治会長を招き職員全員と地域の情報交換をしている。 ・教育にはお金を掛けて欲しい。市長に授業を見に来て欲しい。(12月7日は大室小学校公開の日) ・若い人材が必要とされている。 ・スポーツ大会に参加しない理由は、横の繋がりがなくなっているからだ住民は話している。自治会に加入していないことが最大の課題だと思う。 ・今までの内容と違うスポーツ大会、スポーツフェスティバルを11月3日に開催する。時代に合った内容なのでぜひ応援をお願いしたい。 ・猪倉新町は敬老会に、育成会(子ども達からの)挨拶をしている。育成会挨拶は、高齢者も大変喜んでいる。 ・自治会加入は、デメリットばかりが目立ってしまうが、メリットも多く、地域の顔見知りが増え楽しくなってきた。 ・若い人が、自治会に加入しやすいようにQRコードなどを活用して、回覧板を見られるのも一つの方法ではないかと思う。地域の活動も分かりやすくなると思う。
	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悲しい事件が起きないと対策が出来ない環境から、みんなが協力できる環境に変わりつつある。 ・自治会、学校、地区センター、公民館は地域活動の核になっている。催しを通じて更に良い環境を作りをしたが、自治会への加入者も減少しているので難しい問題もある。 ・散歩も大切な環境づくりで、継続すれば自然と挨拶を交わすようになる。 ・大人の背中を子供たちに見せて次世代に繋ぐことは良いことだと思う。 ・市内には、オアシス支援事業や各地域の居場所があり、大沢地区には10カ所あるので各自自治会のサロン活動、体操や趣味の集まりに活用して頂きたい。 ・G7サミットの時、今市小学校で児童と一緒に給食を食べた。とても良かった。 ・ICT教室を見たいと思っているので、機会があったら見学に行かせていただきたい。 ・LINEを使った回覧板があることも新聞で見たことがある。併用もいいことではないか。 ・自治会の組当番も、高齢だから出来ないと言われることもあるようだ。地域によっては、免除している所もある。 <p>自治会に加入していないからと言っても、いざという時には助け合わなければならないので、できるだけ協力して自治会加入を勧めるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育成会などの地域活動を小さい頃から見ていると、それが定着して、大人になった時の良い意識づけになるのではないか。 ・自治会活動ばかりでなく、小さいお茶会などが出来ればもっと良いコミュニケーションを図れるのではないか。

意見交換	<p>【課題3】 環境づくり</p> <p>【参加者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活するにあたり、道路などの立ち木や草の管理がなされておらず、倒木や落ち葉の始末に悩まされている。落ち葉などで滑り、歩行者や自転車の大きな事故にもなりかねない。 ・杉の木台では、草が木に変わりつつある土地がある。野生動物が住み着き、環境、衛生的によくない。所有者との連絡がつかないため、市として何か対策はないのか。 ・環境が整備されていれば、不法投棄対策や犬などの糞の処理もきちんと出来ると思う。 ・秋の交通安全週間期間中に猪倉で大きな事故があった。幸い通学には影響なかったが、周りの環境には十分気を付けたい。 ・猪倉新町では、連絡のつく所有者には「有料で整備します」という旨の通知をしている。その収益は地区の催しに活用している。(一区画2万円くらい) ・今まで危険だった大沢公民館入口のT字路について、白線の位置を変えたことによって、危険が解消されたことはとてもいいことだった。 ・栃ノ木平自治会も自治会加入率低下により、自治会活動が低迷している。共有施設の老朽化や電気料金の高騰により、苦しい自治会運営になっている。しかし、多くの住民が満足できるよう話し合いの機会を増やし、住民同士が協力しあえる自治会になるよう運営活動したい。 ・自治会費と汚水処理施設の管理費とに分けて集金しており、管理費から電気料金などを支出しているが、自治会費からも負担しているので問題も多い。 ・高齢化に伴い、自治会費の集金も負担になっている。 ・自治会未加入者に対し、防犯灯などについては、負担金として請求するような制度はいかがか。 <p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立ち木の管理は、原則、土地の所有者の管理になっているので、「適正な管理をお願いしたい」旨を市から所有者に通知している。 ・個人の土地には手は入れられないが、了解があればできることもある。個人情報をお伝えすることはできないが、市から通知をすることは出来るので相談して欲しい。「草木を切ってください」ではなく、「切らせてください」であれば対応いただけるかもしれないので、相談いただきたい。 ・猪倉の事故現場には、ガードレールを付けることになっている。信号の要望があったが、県の予算の関係もあるのでなかなか難しい。 ・自治会に入っていない人の管理費はどうなっているのか。 ・負担金制度は難しい問題だが、地域のお店などが自治会に加入している人に対して、自治会割など協力してもらえらるシステム作りも自治会加入促進の1つのアイデアかもしれない。
意見交換	<p>【課題4】 福祉</p> <p>【参加者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の持っている知識を、生かせる場所があればいいと思う。自治会でチャンスあげたい。 ・移動の足がないので外に出歩けないと、高齢者は訴えてくる。しかし、民生委員は不慮の事故などを考慮し、高齢者などの送迎はしていない。 ・行政で高齢者が活動しやすい環境を作って欲しい。 ・市民全体の福祉の充実と、今後の日光市の福祉に対しての方針意向をお聞きしたい。 <p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八日市では、子供達に公民館で昔遊びを教えている。 ・高齢者の足の問題はどこの地区でも抱えていて、大きな課題となっている。 ・自治会の互助の取組の支援として、送迎サービスのための車両借り上げ料や、送迎サービスの保険料補助などの制度があるので相談いただきたい。 ・最近話題になっているライドシェアについて、テレビで畳職人さんが地域貢献という想いで活動しているという事例を見た。もしかすると上手く活用できるのかなとも感じた。 ・福祉に対する市の方針については、総合計画や、地域福祉計画、地域福祉活動計画に基づき概要を説明した。

意見交換	<p>【課題5】 安全</p> <p>【参加者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校はマイカー登校が主流になっている。本来であれば歩いて登下校するのが良いが、安全面を考えると送迎バスがあると安心できる。個人的に、送迎するより登校班のコミュニケーションも増えると思う。 ・高齢者も利用できるスクールバスはどうか。空のバスを運行をすることもないのではないか。 ・免許返納後にタクシー券をもらえるが、使い方に苦労している人もいる。 ・交通事故を減らすために、市と警察署の連携した対策をお願いしたい。 ・ドライバーへの協力依頼の看板設置を推奨したい。 ・民生委員の間では、高齢者に対して、子供と自転車とバイクに注意と呼び掛けている。 ・高齢者のライダーが増えている。 ・人と車と自転車が住み分け出来る環境を作りたい。 ・日光地域の中学校では、自分たちの住む地域の生徒会を作り、登下校の危険個所などを自分達で話し合い、自治会と共に話し合いもしている。話し合いをしたことは、必ず自治会が実現してくれる。 ・何事にも実践できる組織(まちづくり協議会)を実現させたい。 ・大沢中学校は避難所になっているので、大沢中学校を使って避難訓練をしても良いのではないかと。実際、車両で避難されると思うが、大沢中学校では、車両での避難の受け入れは困難な状況となっている。訓練により実際の状況も見えてくるかもしれない。 <p>まずは、市担当者、学校職員、自治会、民生委員などでシミュレーションをやってみたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大沢中学校に避難所を設置するには、学校の通信環境を整える必要がある。 ・避難訓練を行えば、災害時要支援者名簿の問題も改善されるのではないかと。
	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大沢小学校で2ルートで1台のスクールバスで半年くらい運行させたが、待ち時間が長かったため、保護者が迎えに来て個別に下校し、だんだん利用者が減ってしまった。スクールバスを導入するのであれば、全員が1回で帰れるようにしなければならない。児童の少ない地域は可能かもしれない。 ・近い将来、課題になると思う。 ・通学路安全対策協議会があり、各学校から持ち寄った課題を基に、可能なことから取り組んでいく。 ・路線バスも活用しながら登校しているところもある。 ・免許返納した方へのタクシー券については、今後別のもに変わるよう検討中。(時期は未定) 現在お手持ちのものも交換できるよう検討中。 ・十数年前、大沢中学校を舞台に自衛隊と一緒に防災訓練を行った。避難者は歩いて学校に行ったようだ。また行う事はいいことだと思う。